

(別紙資料)

4. 集う・相談する「山元こぐまサロン」の開催

令和2年6月～令和3年2月

実施日	6月23日	7月9日	8月6日	9月10日	10月15日	11月12日	12月10日	1月14日	2月11日	(3月18日)	計	
参加者数	当事者	13	14	15	14	15	14	15	16	17	15	148
	保護者	10	4	13	7	7	8	6	5	7	8	75
	スタッフ	7	7	9	10	11	11	10	6	5	6	82
	関係機関	2	2	1	3	16	1	1	1	2	6	35
	一般	4	5	4	6	2	6	6	3	15	2	53
	参加者計(人)	36	32	42	40	51	40	38	31	46	37	393
実施内容	個別相談(ケース)		2	0	1	3	2	0	0	0	10	
	リフレッシュタイム	◆ラジオ体操 ◆ストレッチ体操 ◆コミュニケーションカ アップのレクリエーション	◆ストレッチ体操 ◆オリジナル盆踊りを考 えるワークショップ 協力:NPO法人アート ワークショップすんぷ ちよ	◆オリジナル盆踊りの練 習 ◆フリートーク	◆お彼岸踊りを踊ろう 協力:NPO法人アート ワークショップすんぷ ちよ	◆体ほぐし ◆ブレイクタイム (近況報告) ◆体を動かすゲーム(拍 手ゲーム・椅子取りゲー ム)	◆体操 ◆フィールドワーク(ひだ まりホール探検)	◆体操 ◆グループ毎のパ フォーマンス発表(表現 活動) ◆年忘れ!親子ビンゴ 大会	◆親子で体と心をほぐす 時間(ストレッチ・みんな に近況報告)	◆「うたの時間」 協力:音楽の力復興セン ター東北、仙台オペラ協 会	◆ビデオレター視聴 河北新報社 「震災から10年」 すんぷちよ すんぷちよ音頭	
	グループワーク(ピアサポート)活動	◆対話と学びの場 「沖縄から平和を考えよ う」 講師:佐藤浩昭 (丸森町 古書店)		◆アンガーマネジメント 「怒りスイッチをさがせ」	◆お金について話し合 おう		◆どんな時にほっとす る?～休み時間の過ご し方 ◆買い物の練習@フレ スコ 「芋煮会の材料を買う」	◆「まもりーぶ」を利用し ているメンバーの体験発 表 協力: 宮城県社会福祉協議会 「まもりーぶ」 やすらぎ(相談支援専門 員)	◆書道ワークショップ 自分の想いを書道で表 現する	◆震災から10年の感謝 の気持ちを伝える。(壁 画前、駅前、ひだまり ホールで写真撮影し、河 北新報震災10年企画に 応募)	◆1年間の振り返り (参加型評価)	
	障害者の差別解消・地域生活支援等の理解を広げる	◆ひとり暮らしのメン バーのお宅訪問(つば めの杜町営住宅内)	◆素敵な生き方はたら き方って (動画視聴:「たんぼ の家 伊藤樹里の仕事」 協力:たんぼの家(奈 良市)		◆ひとり暮らしのメン バーのお宅訪問(つば めの杜町営住宅内)	◆当事者発表「精神科 入院と震災を乗り越え て。たたいま76歳」	◆将来のお金と生活に ついてみんなで考えよう 参考図書「障害のある子 の将来のお金と生活」渡 部伸著		◆新年の主張「私の想 い」 書初め作品展示・今年 の抱負を親も子も発表 する		◆ライフストーリーを話 そう・聴こう 「大友浩一郎の生態」	
	保護者カフェ	◆地域で安心して暮ら すために今後必要な 「ヘルパー利用」 「グループホーム」 「ショートステイ」 について	◆障害のある子の育て 方について ◆相談支援の3層構造 協力:亘理ありのまま舎 基幹相談支援センター	◆住まいについて(グ ループホームを中心に) 協力:NPO法人あさがお (南相馬市)	◆「発達障害の理解と支 援のあり方」 講師:みやぎ心のケアセ ンター 福地成先生 ◆近況報告	◆傾聴ってなんだらう 協力:傾聴ボランティア の会 北島すち子さん、 藤本淑郎さん	◆傾聴しながら学び合 う 協力:傾聴ボランティア の会 北島すち子さん、 藤本淑郎さん	◆傾聴しながら学び合 う 協力:傾聴ボランティア の会 北島すち子さん、 藤本淑郎さん	◆傾聴しながら学び合 う 協力:傾聴ボランティア の会 北島すち子さん、 藤本淑郎さん	◆傾聴しながら学び合 う 協力:傾聴ボランティア の会 北島すち子さん、 藤本淑郎さん	◆傾聴しながら学び合 う 協力:傾聴ボランティア の会 北島すち子さん、 藤本淑郎さん	
	成果	新型コロナウイルス感染 が拡大する中、保護者 同士が月に1回集まって 支え合うことの意義を感 じておられた。	ダンスワークショップで は自分たちの住む町の 良いところや好きなと ろを出し合って楽しく盆 踊りを作っていた	実際にグループホーム を運営しているNPOがグ ループホームでの生活 についてわかりやすく紹 介し、その生活の様子を 動画で観ることができ、 理解につながった。	コロナと酷暑の影響で運 動不足の親子も講師も 一緒に踊って解消した。 福地先生の講義で、保 護者や支援者は「発達 障害」の支援方法を具 体的に学べた。	保護者は月1回集まれ る場があることの大切 さを実感していた。当事 者発表では、民生委員、 保護者、相談支援スタッ フが学び会えた。	傾聴講師からは保護者 同士の学びの場によ って、保護者の顔が穏 やかになってきたとい う感想があった。子供 の障害を理解すること につながっている。	コロナの影響でクリ スマスが持てない状 況下、ビンゴ大会で みんな喜んでいま た。保護者からは 子供と一緒に活動 (体操など)もした いという希望が出 て次回の企画に 繋がった	「新年の主張」では、 親も子も一人一人 堂々と前を出て、 書をもとに発表 ができた。伝える 力と受け止める 力をつけてき ている	プロの歌手やや ピアノ演奏を立 場を超えて一緒 に楽しむことが できた。祝日に 開催したことで 普段は来れない 家族も参加し て楽しく交流が できた。	ボラリスのアー ティストがライ フストーリーを 発表し学び合 った。1年間の 振り返りに関 して参加型評 価をした。	
備考	東北福祉大学総合マ ネジメント学部森先生との 情報交換ができた	保護者ピアサポート活 動亘理基幹相談支援セ ンターが視察に来た		児童クラブスタッフが「 発達障害」の勉強に参 加した。		地域相談支援体制作り プロジェクトチ ームミー ティング				地域相談支援体制作り プロジェクトチ ームミー ティング「災害時 対応について」 協力:亘理あり のまま舎		

集う & 相談する やまもと★こぐまサロン

地域の方だれもが
参加できます。

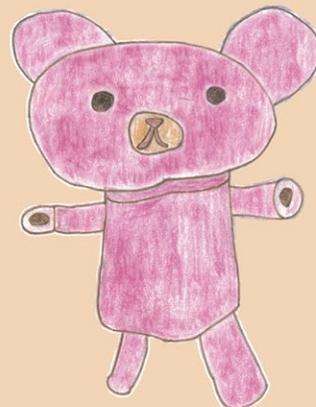
こぐまサロン
イメージキャラクター
©Hiroko Kanoh



たのしそうだな♪



おはなし、したいわ〜



こぐまサロンとは・・・

障害がある方もない方も〈集う&相談する〉を通して
新しいコミュニティをつくりながら
共に生きる地域づくりを目指すサロンです

☆山元町障害者地域協議会（※）の取り組む「地域づくり」活動として実施します。

※「山元町障害者地域協議会」とは、山元町における共生社会の実現に向け、障害児者が地域で安心して生活できるまちづくりに関し、関係機関の連携を図るための中核的な役割を果たすことを目的とした組織です。

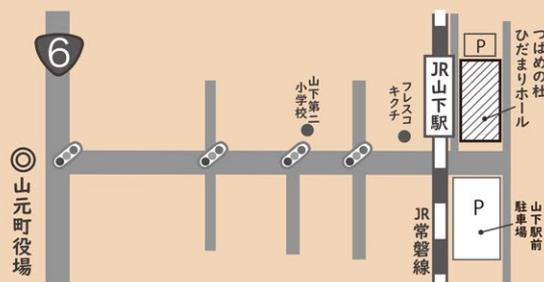
開催日時：2020年5月～2021年3月
第2木曜日

開催日▶	2020年 5/14	6/11	7/9	8/13	9/10
	10/8	11/12	12/10	2021年 1/14	2/11
				3/11	

場所：つばめの杜 ひだまりホール 3F

主催：山元町(山元町委託事業)

実施：山元町障害者地域協議会 相談支援部会
(企画実施担当)NPO法人ポラリス



〈こぐまサロン・活動イメージ〉



〈活動内容・時間割・場所〉

内容	相談室	サロン	リフレッシュ
場所	会議室7	会議室5	リハーサル室
10:00 ┆ 12:00	個別相談 自分や家族の体調や生活の中の困りごとなどお聞きし、改善に向けて一緒に考えます。秘密は厳守します。	●オープンアトリエ ●フリースペース ●ピアサポート 当事者やご家族、同じ悩みを抱えた方々が気軽に交流できる場	うた、エクササイズ、ダンスなど 随時企画します。
13:00 ┆ 15:00	秘密は厳守します。精神保健福祉士など専門スタッフが対応します。	●対話と学びの場 障害について理解を広め、いろいろな立場の人が共に学びあう場 ※月替わりのテーマで開催します	



相談は電話でも受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい♪

申込み不要

(時間の指定をご希望の方は、前もってご連絡下さい。)

参加費無料

(ワークショップの材料費をお願いする場合があります。)

問合せ・ご相談: 相談支援室ポラリス (担当 田口)

TEL 0223-36-7413

(ご相談の可能な時間10:00-16:30平日のみ)

